

令和元年度

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	95%	5%	0%	スペースは十分確保されている。また、クラス分けにより少人数スペースを広く活用し、落ち着いて活動できる。
	②	職員の配置数は適切であるか	40%	55%	5%	その日の利用人数や活動内容に応じて職員を配置している。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	95%	5%	0%	他事業(放課後等デイサービス)とは区別し、単純な動線工夫あり。今後も、障害特性に応じた表示の改善や配慮事項工夫を行っていく。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100%	0%	0%	子どもの特性にあった療育環境を考え、小集団活動などを工夫し、実践している。毎日の衛生管理・安全管理も確実にしている。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100%	0%	0%	自主ミーティングやサポート会議、打合せを全職員間で実施、実践している。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	0%	0%	アンケート等の結果はお便りやホームページにて公表。行政にも実績報告を行う。改善要望等あれば、会議、委員会等で検討している。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	95%	5%	0%	家族へはお便りにて公表。学校等関係機関向けのアンケート結果については通知文書にて報告。行政にも事業報告している。また、ホームページ上でも公表している。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	90%	10%	0%	第三者委員による評価を毎年度実施している。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	95%	5%	0%	各種研修に参加、または実施し職員の資質向上に繋げている。今後においても内外研修の参加等を充実させていく。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100%	0%	0%	丁寧なアセスメント作成を心がけ実践し、発達段階に応じた計画を作成している。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	95%	5%	0%	遠城寺式検査を統一実施。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	95%	5%	0%	課題や個性、強みなどを領域別に見極め、該当領域については個別支援計画にも明記している。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	95%	5%	0%	良好。

⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	90%	10%	0%	専従職員体制を敷き、児童発達支援管理責任者が中心となってプログラムの企画・立案・決定を行っている。	
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	85%	15%	0%	基本プログラムと個別課題などを組合せながら、季節に合わせた活動等も取り入れ実施している。	
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	100%	0%	0%	サポートチームで検討した内容を、ケアカンファレンスにて全体周知し対応している。	
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	95%	5%	0%	専従職員と児童発達支援管理責任者、サポート職員にて、前日及び療育終了後に実施している。	
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	95%	5%	0%	専従職員と児童発達支援管理責任者、サポート職員にて、療育終了後及び支援開始前に実施している。	
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	85%	15%	0%	サービス提供書を用いて、丁寧に対応している。	
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	0%	十分に対応している。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%	0%	0%	十分に対応している。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	95%	5%	0%	必要に応じて積極的に連携を図っている。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	95%	5%	0%	必要に応じて積極的に連携を図っている。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	80%	20%	0%	体制を整備しており、医療的ケアが必要な児童の主治医からは、看護情報の提供を書面で徴している。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	95%	5%	0%	十分に対応している。連携会議や訪問支援、校区連絡会議など。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	90%	10%	0%	十分に対応している。連携会議や訪問支援、校区連絡会議など。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	95%	5%	0%	行政や関係機関との協力および合同企画でのセミナー開催や交流、研修受け入れなど実施している。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	60%	35%	5%	こどもまつりや幼年防火まつり参加や園外療育などで交流の機会を設定している。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	55%	30%	15%	連携会議や中学校区連絡会に参加する。自立協へは施設長が参加。

保護者への説明責任等	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%	登降園時や定期面談、その他必要に応じて、児童の状況や分析した課題について伝えている。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	100%	0%	0%	実施している。今年度は他の児童発達支援センターと共催で行った(5回＋フォローアップ)。
	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	95%	5%	0%	十分に対応している。
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100%	0%	0%	十分に対応している。
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	0%	0%	随時積極的に対応している。話しやすい環境設定にも気を配っている。
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	90%	10%	0%	十分に対応している(こじ豆、バンビの会)
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	0%	児童発達支援管理責任者や管理者が中心的な窓口となり、誠意を持って対応している。
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	0%	十分に対応している。
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意しているか	100%	0%	0%	遵守している。
	③⑲	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	90%	10%	0%	個別支援計画で配慮方法等を検討し実践している。
非常時等の対応	④①	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	80%	20%	0%	十分に取り組んでいる。独居老人高齢者交流会・他事業所交流会・ボランティア受け入れ・併設施設交流など。
	④②	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	95%	5%	0%	十分に取り組んでいる。感染症に関しては内部研修やスタッフ会議で確認を行い、家族向けにはお便り等で周知を図っている。
	④③	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	十分に取り組んでいる。
	④④	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	100%	0%	0%	アセスメント、入園時健康診断、定期検診、健康調査などを用いて、丁寧に確認している。
	④⑤	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	95%	5%	0%	看護情報提供書や通院記録等を家族に提出してもらい、医師の指示のもと対応する体制を整備している。

④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	80%	10%	10%	リスクマネジメント委員会や、法人会議などで検証・共有し、対応している。
④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	0%	0%	虐待防止、合理的配慮、権利擁護、コンプライアンスなど、高い意識のもと研修の機会を確保し実践している。
④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	55%	40%	5%	身体拘束の事例がなく、支援計画にも記載は無い。今後も身体拘束は行わないが、万が一の場合は、緊急時に限り保護者同意を得て対応する。支援計画への記載については委員会にて検討中。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」又は「いいえ」のいずれかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。